

都内社会福祉施設におけるノロウイルス検査結果
(健康安全部食品監視課集計)

1 実施期間等

- (1) 実施期間：平成 17 年 10 月から平成 20 年 3 月まで
- (2) 実施機関：東京都保健所、特別区保健所、八王子市保健所、東京都健康安全研究センター
- (3) 対象施設：都内社会福祉施設

2 実施内容

- (1) 胃腸炎症状のない調理従事者に対する検便の実施
社会福祉施設において、胃腸炎症状のない調理従事者を対象に、1 施設につき 2~5 名程度、検便を実施した。
- (2) 拭取り検査の実施
主に調理室出入口のドアノブ（調理室側）と調理従事者が使用するトイレの便座（洋式の場合）あるいは便器（和式の場合）等の拭取り検査を実施した。今回の検査は、ノロウイルスの検出を目的として実施したため、なるべく広範囲を拭き取った。

なお、上記(1)、(2)ともに Realtime-PCR 法によりウイルス遺伝子の検出を行った。

3 検査結果

- (1) 調理従事者 1,656 名の検便を実施したところ、21 名からノロウイルスを検出した。(陽性率 1.3%)
(表 1)
- (2) 477 箇所の拭き取り検査を実施し、2 箇所からノロウイルスを検出した。検出した箇所は、便器と汚物処理用シンクであった (陽性率 0.4%)。(表 1)

表1 検便・拭き取り検査結果(平成17年度から19年度まで)

		総計	17年度	18年度	19年度
検便	検体数	1,656	208	734	714
	陽性数	21	0	5	16
拭き取り	検体数	477	58	226	193
	陽性数	2	1	1	0
合計	検体数	2,133	266	960	907
	陽性数	23	1	6	16

- (3) 調理従事者の検便の陽性率が高かった平成 19 年度について、検査結果を月別で集計したところ、1 月の陽性率が高かった (陽性率 6.5%)。(表 2)

表2 平成19年度検便検査結果(月別)

	総計	19年		20年		
		11月	12月	1月	2月	3月
施設数	133	38	18	24	34	19
陽性施設数	9	0	0	5	2	2
検体数	714	210	88	168	137	111
陽性数	16	0	0	11	2	3

4 まとめ

今回の検査で、非発症の調理従事者であっても、ノロウイルスを保有している場合があることが明らかになった。